



No. 441
2023年3月28日発行
国土交通労働組合 東京気象支部
(内線 2352)
<http://tokyo-kishou.sub.jp/wp2/>



春だ！ 組合へみんな集まれ！！

◎気象部門組織拡大推進会議が開催されました◎

3月5日に気象部門の組織拡大推進会議が開催されました。東京気象支部からは、予報分会から1名、支部執行部から1名参加しました。今回の会議では、分会参加の依頼が来ており、他支部では多数の分会参加者があって、意見も活発に出ました。

労働組合の組織率は、現在、けして高くありません。「このままなら、どうなる？」と考えたことがありますか？このことを念頭に、会議では、①組織拡大、②組織強化、③職場課題 について話し合いました。

①組織拡大

- ・次年度（4月期）の異動・採用などどうなるか、調査をする（支部では、3/5付支部要請22-18にて異動予定と異動通知書のとりくみをお願いしています）
- ・連続した声掛けをする（パンフレットを渡して終わりではなく、直接世間話から始めてみる）、レク企画への参加をおすすめする（青年交流集会が6月にあります）、国公共済会のプレゼントのアピールをする（国交労組本部では、今までのワンコイン共済半年プレゼントを拡充する計画をたてています。詳細は決まり次第お知らせします。）

②組織強化

- ・分会活動の見える化に力をいれよう（ニュース発行や職場集会の実施を。せめて、ときどき集まって、今何か困っていることはないか話し合おう。）
- ・要求書は職場要求も必ず追加しよう（要求書提出は無駄にはならない。書いて出すことで、職場課題・みんなの思いが伝わる。）
- ・本部では「職場集会を開催しよう」のスライドを作成しました。分会へ送付します。（次のページにその一部を掲載します）

③職場課題

- ・交通障害が予想される日（悪天の日）の前泊の個人負担分が今年度出なくなった。会計課からは、事前相談あれば検討と言われている（関西）。交渉で要求し、今年度も出ることとなっていた（札幌）。
- ・JETT対応が超勤なのか振替なのかはっきりしない（部門）。超勤か振替か選べるようになったが、年休も余っており、超勤が多い（広島）。
- ・WLB要員の運用が分からない（部門）。要員としての人は元々いるのではなく、その都度採用という話だ（札幌）。気象庁では障がい者雇用でなければ雇えないといっている（部門）。要員は配置されていて普段は所属部署でのふつうの仕事をしているが、育休代替が必要なところへ配置換えとなっていき、穴が開いたところへ臨時雇用が入る運用と聞いている（東京）。→3月6日の人事課長交渉で、運用方法が確認されました。定員配置はありますが、育休取得者が増えたことで、現場で臨時雇用というかたちもあるそうです。
- ・中枢の特日予報官は2人で回しているが、3人にできるか。5連勤がきつい（広島）。運

用でやることはできるが、官執勤務は5連勤が普通で、連続勤務が長いという理由では運用を変えるのは難しいのではないかと（部門）。

職場で困った時、悩んだ時は、13 階組合事務局まで！加入申込も歓迎！ \ (^◇^) /
東京気象支部への連絡は tokyo-kishou-sibu@hotmail.com
電話：03-6403-1895 または（気象庁代表）03-6758-3900（内線 2352）